

派遣留学生帰国報告書

オンラインで留学先大学の授業を受講

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2021年5月26日
所属学部・ 研究科・学府	教育学部
所属学科・専攻	中学校教員養成課程・英語科教育分野

1. 留学先について

留学先大学名	アルバータ大学							
留学先所属学部等	教育学部							
留学期間	出発日	2020/9/14	入学日	2020/9/14	修了日	2021/4/23	帰国日	2021/4/23
住居	大学(紹介)の寮・アパート		民間アパート		<input type="radio"/>	その他(オンライン実施)	
	通学時間						On campus	
	通学方法							
	居室スペース	個室		()	人部屋		その他()	
	共有スペース	完全個室		キッチン		トイレ		バス
	リビング		その他()					
食事	自炊	%	学食	%	外食	%	その他	% ()
保険	海外旅行保険(名称)							
	留学先国・大学指定 の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 加入必須	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	⇄				⇄			

2. 留学にかかった費用について

総費用	30,000 円								
出どころ									
自費	<input type="radio"/>	貯金	30,000 円		アルバイト	円		その他	円
援助		親	円		家族・親戚	円		その他	円
奨学金		JASSO	円		その他名称()				円
その他		その他()							円

2-1. お金の管理方法

渡航時	現金	円	その他()	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	
その他	Amazonで教科書購入(クレジットカード)

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額
	通貨単位		
渡航費(往復)			円
海外旅行保険			円
危機管理サービス			円
査証・在留許可証			円
住居			円
光熱費			円
食費			円
通学に要する交通費			円
教科書、教材費			30,000 円
その他大学に支払った経費			円
その他 ()			円
その他 ()			円
その他 ()			円
その他 ()			円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
			有	○	無	
1 LING 101: Introduction to Linguistic Analysis	正規	3		有	○	無
2 EDPY416: Introduction to the Teaching of English as a Second Language	正規	3		有	○	無
3 EDPY 417: Grammar of English for Teachers of Adult ESL	正規	3		有	○	無
4 EDPY 418: Methodology in the Teaching of English as a Second Language to Adults	正規	3		有	○	無
5 LING 320: Second Language Acquisition	正規	3		有	○	無
6				有		無
7				有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

登録時期は忘れてしまったが、登録開始からすぐに席が埋まってしまう授業もあったので注意が必要。BearTracksという千葉大の学生ポータルのようなものがあるので、そのページで大体の授業内容を把握し、受講する授業を決定した。登録前にシラバスを見ることはできなかったため、概要と授業名、教授の専門分野、前提科目などを参照し授業を登録した。登録はBearTracksで行われるが、授業の資料はeClassというページで公開される。(学生ポータルがBearTracksでMoodleがeClassのようなイメージ)

3-2. 授業内容、方法に関して

オンライン授業ですべてのコースがZoomを用いた同時双方向型だった。時差の関係で、夜中の2時くらいに始まるような授業もあったので、すべてに出席することはできなかった。評価に出席点が入っておらず、また事前に担当教授に相談していたため、出席できないことはあまり大きな問題ではなかったように感じる。Zoomの講義はレコーディングされ、授業資料とともにeClassにアップされたため、日本からでも快適に学習を進めることができた。毎回授業中にZoomのBreakout room機能を用いたディスカッションの時間があり、日本の学生とはまた違った視点の意見を聞くことができた。グループプレゼンをする機会もあり、ZoomやGoogle Chatを使って他の学生と打ち合わせをし、授業内で特定のトピックについて発表した。

3-3. 語学力について

2年生の10月頃にIELTSを受験し、Overall 7.0を取得していた。留学がオンラインだったので、授業中以外には英語を話す機会はなく、期待していたような語学力の向上はなかった。ZoomのBreakout roomディスカッションでは、なかなか発言することができず、自分の語学力のなさとともに、初対面の海外の学生とZoomで話すことの難しさを痛感した。授業のレコーディングを何回も見直したり、論文購読課題やレポート課題が多かったりしたので、リーディング・ライティング・リスニングは向上したように思える。

3-4. 図書館など学内施設について

もちろん図書館や学内施設を使用することはできなかったが、アルバータ大学のアカウントを所有しているため、インターネットの論文へのアクセス権が大幅に広がった。千葉大学のアカウントでもロックがかかっている論文も、アルバータ大学のアカウントを使えば読めてしまうことが多かったため、とても役に立った。私は参加しなかったが、オンラインの交流イベントなども開催されているようだった。

3-5. その他

たまにインターネット環境が悪いことがあり、Zoomの授業中はそれが致命的だった。すぐにWi-fiを修理してもらったが、オンライン留学をする学生は事前にインターネット環境を十分に整えておくべきだと感じた。

4. 生活面

4-1. 住居について

4-2. 食生活について

4-3. インターネット環境、携帯電話について

4-4. 服装について

4-5. 健康管理について

時差の関係で、昼夜逆転になってしまっていた。アルバイトや千葉大学の授業もあったので、睡眠時間が十分に確保できないこともあった。オンライン留学の利点として、日本でもいろいろな活動ができることがあるが、無理をしないことが大切だと感じた。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

4-7. 課外活動について

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

4-9. 日本から持参してよかったもの

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

Zoomでの習慣は日本とほとんど変わらないようだった。わからないことは教授にメールで聞いたり、クラスメートにGoogle Chatで聞くと優しく答えてくれたので、わからないことを放置しないことが大切だと感じた。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

オンライン留学で一番ストレスの原因となっていたのが、誰とも留学についての話共有できないことだったと感じる。授業以外のことを話すことができるクラスメートはできなかったし、日本の友達には相談できないことも多かった。また、感染症の拡大で外出もできなかったため、本や漫画を読んだり、音楽を聞いたりして気分転換をしていた。なるべくカナダ気分を味わおうと、Canadian Clubを買って飲んでみたらウイスキーがおいしいということに気づいた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

アルバータ大学はとても素晴らしい大学だったと感じる。感染症の拡大により、オンライン留学に切り替わったときには、寮のキャンセル料を免除してくれるなど、柔軟な対応をしていただいた。教授の先生方も良識のある素晴らしい方々で、たくさんのことを学ぶことができた。また、いろいろな国から優秀な学生が集まっており、日本の学生とは全く異なる視点からの意見を聞くことができた。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

「日本ではできないことをするために留学する」ということが、留学の本来の目的だと考えるが、オンライン留学でもその目的は十分に達成できたと思う。確かに、直接異文化に触れたり、現地の雰囲気を楽しんだりすることはかなわなかったが、多様な考えに触れ、日本ではまだ進んでいない最先端の理論を学ぶこともできた。オンライン留学ならではの利点も多く感じられた。まず、慣れ親しんだ環境で勉強を進めることができるので、異文化に適応するという段階が必要なかった。また、実際に渡航する場合は日本でやらなければ行けないことを先送りにして留学するが、オンライン留学ならば日本でもいろいろな活動が続けることができた。さらに、経済面を考えても、出費がほとんどなかったため、自分の将来のために貯蓄をすることができた。留学のメリットは多くの人々が感じているだろうが、オンライン留学だからといってそのメリットがすべて消えるわけではないし、逆に生まれるメリットもあるということ一度考えてみてほしい。

5-3. 留学を終えて

2020年9月から2021年4月の8か月間の留学を終えて、無事最後までやりきることができたという安心感と、たくさんことを学べたという満足感を感じている。千葉大学の派遣留学プログラムで留学生課の手厚いサポートがあったおかげで、安心して勉強に集中することができた。特に昨年は感染症の拡大により社会状況が大きく変わり、留学をあきらめかけた時もあったが、留学生課の方々がいろいろな交渉をしてくださり、実施することができた。もし私が大学と関係ないプログラムで留学しようとしていたらと思うと、万全なサポートがある派遣留学プログラムに参加して良かったと思う。最後に、この留学を通して、英語教授法、言語学、英文法などの知識を得るとともに、現地にいなくても海外の方々と協力して何かを作り上げることができるという自信をつけることができた。私は、留学前は日本の英語教員になりたいと考えていたが、今は大学院に進学して、研究を通して日本の英語教育界の発展に少しでも貢献していきたいと考えている。大学院卒業後に教員になるかどうかはわからないが、このプログラムでカナダの言語教育について学んだことを、日本の教育に活かしていきたい。